

特集 認定看護師教育課程「訪問看護」のすべて

現在、活躍中の訪問看護認定看護師は 65 人、今年度中には 100 人を超える勢いです。教育の実を培ってきた日本訪問看護振興財団、聖路加看護大学、大分県立看護科学大学、新たに始まった兵庫県看護協会を加えた 4 つの教育課程の指導者と修了生から、その実際を報告いただき、認定看護師教育課程を身近に引き寄せようという特集です。

いま行なわれている認定看護師教育課程「訪問看護」について

角田直枝／山田雅子／小野朱美／多留ちえみ

認定看護師教育課程での学びとその後の歩み

平原優美／阿部朋子／三輪真由美／玄永春奈／三原由美子／佐藤弥生

座談会「認定看護師教育課程の 6 か月を修了して」

伊藤美江子／斎藤恵美子／越部恵美／斎藤雅子

■特別記事

重度神経難病者に対する第三者（ホームヘルパー）の「たんの吸引指導の研修」 山崎京子／内田陽子
インドネシア人介護福祉士・看護師候補者をめぐる現状とこれからの課題 岡田真紀

■連載

マグネットステーションインタビュー 木村憲洋／訪問看護時時刻々 石田昌宏／高齢者虐待にどう対応するか 和田忠志／ヒト・モノ・バをつなぐ認知症ケア 山崎正人／広汎性発達障害の理解と援助 細川雅人／わたしのことをわたしから 近藤 英／ほんとの出会い 岡田真紀／お母さんといっしょ 横谷順子／精神科医の家族論 服部祥子／自宅で死んでみませんか 皆川夏樹

編集後記

●今号の制作の間、特集にご執筆いただいた@訪問看護ステーションにうかがい、スライド法を体験する機会があったのですが、その動きに驚きました。介助を受けるほうも行なうほうも楽なこの技術、掲載の連続写真から少しでも感じ取っていただければいいのでしょうか。また、特別記事の「父の介護をめぐる家族の思い」では、医療職・介護職に伝えるのを躊躇してしまう事柄を、百々氏の実体験に基づいて紹介されています。実際にその立場に置かれなくて理解しにくいことが多々あるということを変えて考えさせられた次第です。……………富岡
●リハビリテーションという語感が好きです。リハビリ室に入るとそれまでの自分を切り替えて、PT の方々の言うことをきいて頑張っていた母を思い出します。リハビリはとてつらいと泣いたりもしましたが、身体にあう車椅子を作ってもらい、リハビリの日を楽しみに通っていました。PT の方々とは、看護師や主治医に対するのとは違う、教師と生徒のような関係に見えました。訪問リハがあったらもっと頑張れたはず。……………伊藤

訪問看護と介護 第14巻 第6号（通巻 156号） 2009年6月15日発行（毎月1回15日発行）

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo©2009, Printed in Japan

1部定価1,260円（本体1,200円＋税5%） 年ごめ予約購読料13,200円（年間12冊，税込，送料弊社負担）

電子ジャーナル閲覧オプション MedicalFinder パーソナル付 18,200円（税込，送料弊社負担）

発行：株式会社 医学書院／代表者：金原 優／販売部：03-3817-5659／社内案内：03-3817-5600

「訪問看護と介護」編集室：直通 03-3817-5787 FAX 03-5804-0485 担当：富岡・伊藤・早田

Eメール houmon@igaku-shoin.co.jp 医学書院ホームページURL <http://www.igaku-shoin.co.jp>

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は(株)医学書院が保有します。

【JCLS】<株>日本著作出版権管理システム委託出版物>

本紙の無断複写は著作権法上での例外を除き禁止されています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム（電話03-3817-5670、FAX03-3815-8199）の許諾を得てください。本誌掲載論文・記事のタイトル頁最下段に記された「0917-1355/05/¥250/論文JCLS」は、1論文1回複写につき250円要することを明示したものです。これは表示のない論文等にも適用されます。JCLSへのご連絡の際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。